

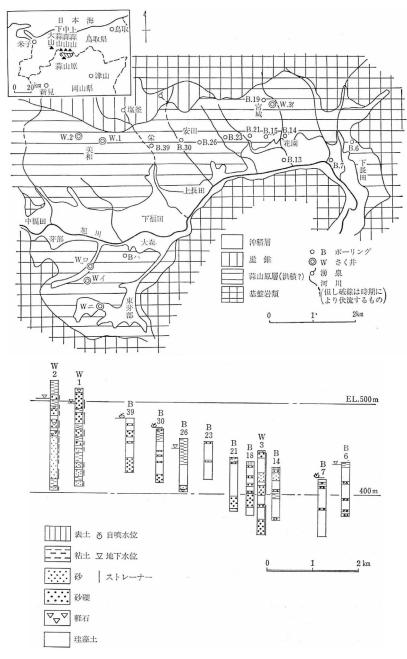
地形•地質

蒜山盆地は蒜山三山の南麓に位置し、別名山中盆地とも呼ばれます。旭川を挟み北 方のものを蒜山原と呼び、南方の芽部の緩傾斜地と区分しています。蒜山盆地には基 盤岩類を覆って蒜山原層が分布し、盆地の主部を構成しています。

時代区分			蒜 山 原	化石, ⁴C	地 史	大 山 周 辺	
完新世	,		掛田段丘		縄文人の集落発達 崖錐 クロボクの形成 蒜山山麓斜面の完成		新期大山
後期更新世	ウルム氷期	W II W II	大山上部火山灰 花園泥炭 宇田段丘 大山中部火山灰 大 森 段 丘		珪藻土の変形 一時的湖沼化 古	大山上部火山灰 中山礫層 大山中部火山灰 大島居砂礫層 大山下部火山灰 由良砂礫層 大山最下部火山灰 御来屋礫層	山(黒雲母角閃石石英安山岩) 旧期大山
中期更新世	リ M / : ミン	W 間氷期 ス氷期 R 間氷期 デル氷期	大山下部火山灰 郷 原 段 丘 大山最下部火山灰 大山凝灰角礫岩 間谷泥炭 蒜 山 原 層				
前期更新世	ギュンツ氷期ドナウ寒冷期		蒜山火山岩?	-	蒜山火山の活動 古脊稜部に凹所形成	溝口凝灰角礫岩—→ ?	(両輝石安山岩)
先第四系			基 盤 岩 類 (花崗岩類 中生代酸性 火山岩類 三郡変成岩				

地下水

蒜山原には、崖錐層から湧出する湧泉があります。蒜山原層は中期更新世の湖成層とされ、旧時の湖盆にほぼ水平に堆積した砂、礫、粘土、珪藻土などの互層です。そのうち砂・砂礫・軽石層が帯水層になり、場所によって自噴しています。



蒜山盆地の水文地質図と断面図

出典 日本の地下水(農業用地下水研究グループ,1986)(一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/(日本地下水学会)